2015年
入試用

学校説明会レポート

ICHISHIN
市進

本郷中学校・高等学校

日時	2014年　5月9日（金）10時30分～11時45分
所在地	豊島区
会場	１号館体育館
対象	塾
出席者数	約300名　空席あり
配付資料	説明会資料、2014年中高学校案内、2015年中学リーフレット、中高新聞、進路・父母の会広報誌、中学オープンキャンパスお知らせ、アンケートなど

説明会の概要

挨　拶　北原校長　10：30～11：00

- 校訓の「強健・厳正・勤勉」を旨とした教育の実践として、人間力と社会力を育てる教育を行っています。文武両道、自学自習、生活習慣の確立に努めています。
- 2014 年春に２号館新校舎が完成しました。廊下を広くとり、図書室・ラーニングコモンズなど教室以外の空間も生かし、個別学習はもとより、グループでの学習・研究に活用していく方針です。
- 自学自習を重視し、生徒に生活記録表を作成させて時間をコントロールする能力を養っています。生活記録表は学年ごとに独自のものを採用・制作しています。また、「すきま時間」の活用の仕方を先輩から直接学ぶのが本校の伝統となっています。
- 部活動では、科学部が６年連続ジュニアセッションに参加し、社会部は香港で開かれたジュニア・アチーブメントのアジア大会に初出場しました。
- 震災・緊急時の保護者への一斉メールを徹底させ、月１回、模擬練習も行っています。防災用の食料・飲料水なども十分備えているほか、熱中症対策も万全です。
- 中学３年で「卒業論文」を実施しています。テーマは幅広い分野に及び、「主体的な学習姿勢を育成する」という面では大きな成果が出ているとみています。

現況報告と合格実績　高校教頭　山梨先生　11：00～11：20

- 教員の年代構成は、30～40 代が多いです。クラス数の割合から見ると、中学の教員の

方が高校よりも多くなっています。

＜中学＞

●中学１～３年は各６クラス編成となっています。３学年とも学力均等クラスで、特進クラス編成も習熟度別授業も実施していません。ただし、１年次は１クラスを２人の先生が受け持つ複数担任制を採用し、きめ細かく指導しています。

●中１・中２の数学合同授業を年４～５回実施しています。１年生は２年生から問題解説や勉強方法などの指導を受けることで学習への意欲が高まり、２年生は教えることを通して自ら考える習慣が身につくなど、相乗効果は大きいです。

＜高校＞

●高校１年は８クラスで、７・８組は特進コースです。高校１年次では、内進生と高入生は別クラス編成で、２年次で混合クラスとなり、文系・理系に分かれます。

●主に理系教科において習熟度別授業を実施しています。また、文系・理系、特進コース編成の関係から２年次は 11 組、３年次は１０組に分かれるため、少人数制授業となる場合もあります。

●３年次には学校設定科目として受験講座を正規の時間割の中に組み込んでいます。

＜大学合格実績＞

●2014 年春は、国公立大に合計 90 名(浪人含む)が合格しました。昨年より 18 名の減少ですが、現役合格者は 72 名(前年 62 名)と過去最高を更新しました。また、本校が難関大と考える４校(東大・京大・一橋大・東工大)＋国立大医学部には、合計 36 名(浪人含む、前年 33 名)が合格しました。

●早慶上智・東京理科大へは 478 名が合格と、過去最高だった 2009 年の 321 名を大きく上回りました。特に早大は前年より 65 名増加の 155 名、慶大は 67 名増加の 118 名にのぼりました。

●３学期は自宅学習になりますが、今年は学校に来て勉強する生徒が例年の倍ほどいて、生徒の自主性や最後まであきらめない姿勢が躍進につながりました。

●2014 年春卒業生全体の進路状況では、国公立へ 18.4%、早慶上理へ 30.3%が進学しました。進学先の系統別で見ると、いくつかの領域にまたがるような学際系を含めて進路分野の多様化がめだっています。

2014 入試結果

入試広報部長　佐久間先生　11：20～11：45

＜中学入試＞

●2014 年入試の最大のポイントは１回入試の２/１への移動でした。目標としては応募者 250 名、実質倍率 2.2～2.5 倍を想定していました。当初、出足はあまりよくなく、200 名割れを懸念しましたが、締切日までコンスタントに出願があり、308 名と目標を上回ることができました。第１志望者が中心の試験だけに、受験生も志願状況をうかがっていたようです。

●2014 年の応募者数は前年より約４％増加しました。関係各社の方々が本校の２/１参入を早くから話題にあげていただいたおかげで、受験生の間に周知されたと考えています。
●2014 年は合格者 515 名に対して 242 名が入学しました。特待生として２名が入学しました。帰国生に対する優遇制度を 2014 年より導入しました。今年は３名受験、２名合格で、優遇措置による合格者はいませんでした。
●本校の入試問題は持ち帰る事ができ、保護者には正答例を配布しています。不合格者への点数も公表しています。
●多くの本校第１志望者を迎えることができましたが、2015 年が試金石となりそうです。最低点はやはり２/１入試が２・３回目に比べて高めで、入試問題もやや取り組みやすいといえるでしょう。

＜高校入試＞

●推薦入試の応募資格は、５科 18 以上かつ９科に２以下がないことです。2014 年は、公立志向の影響からか、応募者が前年より７名減少しました。受験者 42 名のうち合格者は 25 名でした。内申点が５科 18 の受験者は９名中４名が合格、５科 21 は７名中３名が合格と、内申点は合否にあまり関係なく、適性検査重視の選考です。
●一般入試は、応募者 227 名で合格者 110 名でした。本校第１志望による優遇制度の合格者は３名です。
●一般入試の主な併願国公立高校は、都内は戸山、青山、日比谷、新宿、西など、都外は横浜翠嵐、県立浦和、春日部、県立船橋、県立千葉などです。

2015 年入試

【変更点】　中学入試→（なし）　　高校入試→（なし）

説明会の雰囲気・印象

●北原校長の話はやや前後しましたが、生徒の自主性を重視する指導方針や校風の説明には熱意を感じました。説明資料が簡潔にまとめられており、特に大学実績に関する報告は明解でした。完成したばかりの２号館の講堂での開催を考えましたが、今回は塾関係者が中心で、メモをとるための机が必要なことから、前年同様、体育館にしたとのことでした。今後の説明会は講堂で開催される予定です(階段状の座席は快適そうです)。

学校周辺の環境

●駅からは、スーパーやスポーツ施設を通り過ぎた所にあります。

最寄り駅から学校までの距離・時間

● JR 山手線・都営三田線 巣鴨駅より徒歩３分